



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 日邦産業株式会社

コード番号 9913 URL <http://www.nip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 岩佐 恭知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 三上 仙智 (TEL) 0587-98-1227

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	32,601	15.8	599	161.0	484	-	672	-
29年3月期第3四半期	28,150	△14.1	229	-	△855	-	△641	-

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,324百万円(-%) 29年3月期第3四半期 △1,835百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	75.50	-
29年3月期第3四半期	△70.42	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	30,732	11,217	35.6
29年3月期	27,409	9,880	35.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 10,928百万円 29年3月期 9,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
30年3月期	-	0.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	10.6	470	64.1	350	-	270	64.0	30.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	9,127,338株	29年3月期	9,127,338株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	190,643株	29年3月期	240,093株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	8,912,449株	29年3月期3Q	9,108,470株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資は力強さを欠いたものの、企業収益や雇用環境の改善が続き、全般的には緩やかながらも回復が続いております。一方の世界経済は、米国においては設備投資や雇用環境の改善が進み、また欧州においても緩やかながらも回復が続いておりますが、朝鮮半島の情勢不安が続いており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは当連結会計年度を初年度とした中期経営計画において定めた、「事業の選択と捨象」「稼ぐ活動に集中」という方針に基づき、実直な受注活動や改善活動を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32,601百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は599百万円（前年同期比161.0%増）、経常利益は484百万円（前年同期は855百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は672百万円（前年同期は641百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・モビリティ

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品及び同組立品を国内外で製造・販売しております。

当該事業の業績は、バンコク工場、ベトナム工場を中心とした海外工場での受注増加、コイル部品の本格量産並びに、各工場で行ってきた業務改善による効果の影響により好調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は11,244百万円（前年同期比21.2%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は260百万円（前年同期比82.5%増）、配賦後のセグメント利益は151百万円（前年同期比50.6%増）となりました。

・エレクトロニクス

電子部品及びクリーンエネルギー関連のメーカーに対して、専門商社として高機能材料、部品、治具及び機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、スマートフォン需要が牽引し、関連する電子部品メーカーの生産増加に伴う部材受注が好調に推移したこと、ロボット及び工作機械向け配線板材料の受注が好調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は11,580百万円（前年同期比20.9%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は578百万円（前年同期比67.9%増）、配賦後のセグメント利益は227百万円（前年同期比179.6%増）となりました。

・精密機器

オフィスオートメーション、デジタルイメージング、医療機器等の関連メーカーに対して、樹脂成形品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、デジタルイメージング関連部品の受注が減少しましたが、医療機器部品において、自社企画製品の販売を開始したこと、ディスプレイ器具の需要が拡大したこと、並びにプリンター関連部品も海外拠点で受注増加したことにより好調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は5,455百万円（前年同期比2.8%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は81百万円（前年同期は34百万円のセグメント損失）、配賦後のセグメント利益は42百万円（前年同期は62百万円のセグメント損失）となりました。

・住宅設備

住宅設備の関連メーカーに対して、専門商社として、またファブレスメーカーとして、樹脂成形品、ブラインド・介護用ベッドのコントロールユニット、高機能材料並びに機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、高効率給湯器向け配管部品などの受注が増加したことにより堅調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は2,814百万円（前年同期比11.1%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は191百万円（前年同期比25.9%増）、配賦後のセグメント利益は109百万円（前年同期比80.8%増）となりました。

・その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

当該事業の業績は、アミューズメント業界向けICカード関連などが好調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1,715百万円（前年同期比3.7%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は188百万円（前年同期比24.5%増）、配賦後のセグメント利益は122百万円（前年同期比57.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,263百万円増加し15,776百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が831百万円、商品及び製品が161百万円増加したことなどが主な要因となっております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,059百万円増加し14,955百万円となりました。これは建設仮勘定が745百万円、土地が317百万円、建物及び構築物（純額）が280百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて3,322百万円増加し30,732百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,224百万円増加し13,074百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が687百万円、短期借入金が231百万円増加したことなどが主な要因となっております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて761百万円増加し6,439百万円となりました。これは長期借入金が555百万円、長期リース債務が114百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,985百万円増加し19,514百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,337百万円増加し11,217百万円となりました。これは為替換算調整勘定が347百万円、その他有価証券評価差額金が207百万円増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益672百万円を計上したことなどが主な要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第3四半期連結累計期間における業績及び、当第4四半期の業績動向並びに、当連結会計年度末において予定している退職給付債務の原則法への切替えの影響等を踏まえて、通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成30年2月6日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,429,954	4,422,949
受取手形及び売掛金	6,862,738	7,694,733
電子記録債権	323,984	427,005
商品及び製品	1,090,897	1,252,513
仕掛品	431,450	462,801
原材料及び貯蔵品	732,151	799,091
繰延税金資産	1,965	1,577
未収入金	522,167	569,237
その他	121,046	149,747
貸倒引当金	△3,167	△3,252
流動資産合計	14,513,190	15,776,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,621,790	9,254,512
減価償却累計額	△3,488,771	△3,840,560
建物及び構築物(純額)	5,133,019	5,413,952
機械装置及び運搬具	8,533,526	9,172,230
減価償却累計額	△5,838,556	△6,179,123
機械装置及び運搬具(純額)	2,694,969	2,993,107
工具、器具及び備品	642,101	822,727
減価償却累計額	△383,380	△523,628
工具、器具及び備品(純額)	258,721	299,099
土地	1,415,770	1,732,866
建設仮勘定	269,505	1,015,026
有形固定資産合計	9,771,986	11,454,051
無形固定資産		
その他	89,583	96,785
無形固定資産合計	89,583	96,785
投資その他の資産		
投資有価証券	1,961,593	2,116,597
繰延税金資産	91,274	67,554
その他	1,011,526	1,249,193
貸倒引当金	△29,973	△28,469
投資その他の資産合計	3,034,420	3,404,875
固定資産合計	12,895,990	14,955,713
資産合計	27,409,180	30,732,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,758,132	8,445,210
短期借入金	1,411,652	1,643,500
1年内返済予定の長期借入金	859,470	759,017
リース債務	247,656	224,178
未払法人税等	115,402	67,925
賞与引当金	298,920	296,788
その他	1,158,557	1,637,738
流動負債合計	11,849,792	13,074,358
固定負債		
長期借入金	3,638,430	4,193,696
リース債務	190,268	305,144
繰延税金負債	645,519	672,927
再評価に係る繰延税金負債	2,487	2,487
環境対策引当金	11,921	11,921
退職給付に係る負債	989,966	1,048,473
資産除去債務	118,174	124,033
その他	82,018	81,225
固定負債合計	5,678,785	6,439,910
負債合計	17,528,578	19,514,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137,754	3,137,754
資本剰余金	1,522,069	1,363,807
利益剰余金	4,478,315	5,309,422
自己株式	△67,005	△54,749
株主資本合計	9,071,133	9,756,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,144	387,517
土地再評価差額金	5,699	5,699
為替換算調整勘定	431,149	779,024
その他の包括利益累計額合計	616,993	1,172,242
非支配株主持分	192,475	289,372
純資産合計	9,880,602	11,217,849
負債純資産合計	27,409,180	30,732,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	28,150,028	32,601,553
売上原価	24,709,389	28,534,957
売上総利益	3,440,638	4,066,596
販売費及び一般管理費	3,211,034	3,467,335
営業利益	229,604	599,261
営業外収益		
受取利息	10,632	7,705
受取配当金	34,371	57,072
スクラップ売却益	24,738	24,462
その他	31,394	39,521
営業外収益合計	101,136	128,762
営業外費用		
支払利息	77,832	90,111
電子記録債権売却損	7,559	8,645
為替差損	1,042,081	118,385
その他	58,384	26,531
営業外費用合計	1,185,857	243,674
経常利益又は経常損失(△)	△855,115	484,348
特別利益		
固定資産売却益	16,913	67,710
投資有価証券売却益	—	150,964
その他	1,707	—
特別利益合計	18,620	218,674
特別損失		
固定資産処分損	3,403	3,512
投資有価証券売却損	—	950
特別損失合計	3,403	4,462
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△839,899	698,560
法人税、住民税及び事業税	76,219	139,291
法人税等調整額	△68,357	20,704
法人税等合計	7,861	159,995
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△847,760	538,565
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△206,344	△134,280
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△641,415	672,845

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△847,760	538,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203,462	207,373
為替換算調整勘定	△1,190,951	579,049
その他の包括利益合計	△987,488	786,422
四半期包括利益	△1,835,249	1,324,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,571,918	1,228,094
非支配株主に係る四半期包括利益	△263,330	96,893

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月22日開催の定時株主総会の決議により、平成29年6月23日付で、資本準備金を158,261千円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を158,261千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,276,960	9,580,592	5,277,841	2,532,910	26,668,304	1,481,723	28,150,028	—	28,150,028
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,649	—	30,816	—	32,465	172,211	204,677	△204,677	—
計	9,278,609	9,580,592	5,308,657	2,532,910	26,700,770	1,653,935	28,354,705	△204,677	28,150,028
セグメント利益又は セグメント損失(△)	100,714	81,303	△62,871	60,570	179,716	77,916	257,633	△28,028	229,604

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当社はセグメント利益又はセグメント損失(△)を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は499,515千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益又は セグメント損失(△)	142,498	344,915	△34,210	152,219	151,724	757,148
全社費用	41,784	263,612	28,661	91,649	73,807	499,515
セグメント利益又は セグメント損失(△)	100,714	81,303	△62,871	60,570	77,916	257,633

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,230,431	11,580,899	5,436,223	2,814,896	31,062,449	1,539,104	32,601,553	—	32,601,553
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,938	—	19,715	—	33,654	176,405	210,059	△210,059	—
計	11,244,370	11,580,899	5,455,938	2,814,896	31,096,103	1,715,509	32,811,613	△210,059	32,601,553
セグメント利益	151,658	227,340	42,877	109,498	531,374	122,468	653,842	△54,581	599,261

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は647,390千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益	260,014	578,958	81,720	191,632	188,907	1,301,233
全社費用	108,356	351,617	38,843	82,133	66,439	647,390
セグメント利益	151,658	227,340	42,877	109,498	122,468	653,842

(重要な後発事象)

該当事項はありません。